



平成21年2月10日

各 位

本 社 所 在 地 栃木県足利市南大町443番地
会 社 名 株式会社 タ ツ ミ
代表者の役職氏名 取締役社長 山 本 千 秋
コ ー ド 番 号 7 2 6 8
問 合 わ せ 先 経 理 部 長 井 上 雄 象
T E L (0 2 8 4) 7 1 - 3 1 3 1

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成20年11月6日付当社「平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)」にて発表しました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の通期業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成21年3月期 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 予 想 (A) (平成20年11月6日発表)	6,700	150	158	56	9 34 円 銭
今 回 修 正 (B)	5,710	△ 240	△ 255	△ 180	△ 30 00
増 減 額 (B - A)	△ 990	△ 390	△ 413	△ 236	-
増 減 率	△ 14.8%	-	-	-	-
参 考 (平 成 2 0 年 3 月 期)	6,924	254	225	120	20 14

(修正理由)

企業業績の急激な悪化を背景に雇用不安が社会的な問題に発展しており、上半期に高騰した原油・食料等の価格が下落したにもかかわらず、個人消費の買い控え傾向に拍車がかかっております。

自動車業界におきましては、市場の冷え込みにより各完成車メーカーとも在庫調整に入り、11月以降大幅な減産となっており、現在も底が見えない、非常に厳しい状況であります。

当社の売上は、この様な急激な市場環境の変化にともなう大幅な受注減により、通期計画比で990百万円減を予想しております。

第3四半期会計期間(平成20年10月1日～平成20年12月31日)の売上高を部門別に見ると、前年同四半期比でブレーキ部門が10.7%減、電装品用部品部門が19.7%減、応用機器部門が39.7%減とそれぞれ2ケタの減少となり、現在の環境下では、第4四半期会計期間(平成21年1月1日～平成21年3月31日)において、さらに全部門において受注が落ち込むことが明確な状況となっており、今回の計画修正を余儀なくされました。

一方、利益面におきましても、急激な減収に、固定費改善等の原価低減活動のスピードが追いつかず、営業利益は390百万円減、経常利益は為替差損(20百万円)の影響もあり計画比413百万円減、当期純利益は有価証券の評価損(103百万円)の計上により計画比236百万円減となる見込みであります。

2. 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成20年11月6日発表)	0円00銭	6円00銭	6円00銭
今回修正	—	0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭	—	—
参考(平成20年3月期)	0円00銭	6円00銭	6円00銭

(修正理由)

当社は配当金につきましては、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を図りながら、安定した配当の継続を基本方針としております。

しかしながら、当期の期末配当金につきましては、経営環境の急速な悪化にともない通期の業績予想を下方修正することを余儀なくされるとともに、来期においても経営環境の急激な回復が期待できない状況にありますことから、誠に遺憾ではありますが期末配当予想を無配に修正させていただきます。

株主の皆様には、大変なご迷惑をおかけすることを深くお詫び申し上げます。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上